

年報 2009

市立八幡浜総合病院



巻頭言

このたび市立八幡浜総合病院の年報第4号を発刊し、皆様にお届けする事ができる事は、大変意義深い事であります。年報は毎年の病院の活動実績をまとめ、記録し、内外に公開されて、自己評価、第三者の評価の対象となります。この積み重ねによって当院の歴史的資料として貴重なものになります。そして最近、院内において、それぞれの部署が専門分化される傾向にあり、自分の専門領域に対してだけ関心を持つスタッフが多いように思えます。それ故に、この年報をみれば、各部署の活動状況が把握でき、理解できるものと考えます。

2009年度の当院の目標とするところは、医師不足で苦しい時期を支えてくれている心熱き医師達が、パラメディカルスタッフが、それぞれ新しい目標をもって勉強し、学会に参加して発表することです。このことにより、各人の新たな能力をひきだし、いろいろな資格を得たり、自分をスキルアップすることにより病院全体のレベルアップにつながる事を目的としています。私の希望とするマグネット病院へと進化する為には、この事が大切な要素となります。マンパワーが増える事により現在水曜日と土曜日の2日間休んでいる二次救急を365日可能となり、八西地区の住民に医療上の安心を提供できる事と思います。その日が一日も早く来ることを願っています。

この年報は、各診療科、診療支援部、看護部などの業務内容実績、活動成績、スタッフの紹介、資格修得状況などが報告されています。当院の状況が有機的に理解する事ができると考えます。

地域の先生方に、市立八幡浜総合病院の内容について知っていただき、何かのお役に立つ事を願って巻頭言といたします。

市立八幡浜総合病院

院長 久保 敬

目次

巻頭言	1
目次	2
内科	3
糖尿病内科	4
循環器内科	8
小児科	10
外科	12
整形外科	14
皮膚科	16
泌尿器科	17
産婦人科	19
眼科	21
耳鼻咽喉科	22
放射線科	23
麻酔科	25
歯科口腔外科	26
リハビリテーション科	28
臨床病理科	30
放射線室	32
薬局	35
栄養療法科	36
医療機器管理室	38
看護部	40
地域医療連携室	44
医療情報管理室	47
医事係	50
病院の行事等	53

内科

1 概要

2008年より内科医師数の減少に伴い、通常診療（一般内科・救急医療）維持のために専門領域を縮小し対応しています。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

仙波尊教

資格：日本内科学会認定内科医

所属学会：日本内科学会、日本感染症学会、日本血液学会、日本リウマチ学会

長谷部晋士

資格：日本内科学会認定内科医

所属学会：日本内科学会、日本感染症学会、日本東洋医学会、日本糖尿病学会

酒井武則

資格：日本内科学会総合内科専門医、認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、愛媛大学医学部非常勤講師、日本病態栄養学会評議員、日本糖尿病学会指導医・専門医、NST コーディネーター

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本病態栄養学会

上村重喜

資格：日本内科学会総合内科専門医、認定内科医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導

所属学会：日本内科学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本不整脈学会、日本心臓血管インターベンション学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心臓病学会

3 学術活動

(1) 学会・研究会発表

第101回日本内科学会四国地方会（2009.11.22、高松市）

内科的治療に抵抗性であった糖尿病合併腸腰筋膿瘍の1例

長谷部晋士、山本尚幸、仙波尊教、上村重喜、酒井武則、須賀紀文、温泉川一喜、坂上秀樹、堀田恵司、久保敬

心膜切開術により軽快した滲出性収縮性心膜炎の2例

上村重喜、長谷部晋士、仙波尊教、山本尚幸、酒井武則

糖尿病内科

1 概要

昭和 39 年に元院長の吉田良一先生が全国に先駆けて糖尿病教室を開設されて以来 40 年という歴史のある糖尿病診療を行っています。眼科・泌尿器科（透析）・循環器内科（PCI）・脳神経外科と連携し、当院のみで糖尿病に関する合併症も含めた診療が完結できるよう体制を整えています。平成 20 年より内科医師数の減少に伴い、通常診療（一般内科・救急医療）維持のために約半数の患者様の病診連携を開始し、地域で糖尿病診療を行う体制（八幡浜 DM 連携サークル）の整備をすすめています。

糖尿病教育に関しては、糖尿病療養指導士を中心として管理栄養士・看護師・薬剤師・検査技師・理学療法士によるチーム医療を行っています。また、外来指導と個別指導に重点をおいた特徴のある療養指導に取り組むとともに、平成 20 年 12 月よりフットケア外来を開始しました。さらに、各種研修会を開催し、当該医療圏での糖尿病診療・療養指導のレベルアップのため ECDE が中心となり多くの院外活動（八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会、出張糖尿病教室など）も行っています。

2 スタッフ紹介

（1） 医師

酒井武則

資格：日本糖尿病学会指導医・専門医、愛媛大学医学部非常勤講師、愛媛糖尿病対策推進会議実施委員会委員、糖尿病協会愛媛支部理事、日本病態栄養学会評議員、NST コーディネーター

所属学会：日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本病態栄養学会

長谷部晋士

所属学会：日本糖尿病学会

（2） 愛媛糖尿病療養指導士

此上保美、谷本千鶴子、木戸美江子、薬剤師神江利、宮本和典、二宮三枝子、吉川るり子、岡崎千鶴、竹本真由美、二宮香津子、井上貴美子

（3） 愛媛県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会修了者

木戸美江子

3 診療実績

（1） 糖尿病外来：週 2 日（患者数約 800 人）

外来インスリン導入（パス）：月約 5 例

（2） 糖尿病教育・コントロール入院：月 10～20 人

（3） 糖尿病教育指導

外来糖尿病教室：月約 10～20 人（初期教育コース・追加教育コース・特別コース）

外来療養指導：月約 80～100 人

フットケア外来：月約 10～20 例

教育入院：月約 1～3 人（1 週コース・2 週コース）

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

① 全国学会

第 52 回日本糖尿病学会年次学術集会（2009. 5. 21-24、大阪）

動脈硬化性疾患の観点からみた勃起障害（Erectile Dysfunction ED）を有する糖尿病症例の臨床的検討（愛媛 DM 連携 CIRCLE 共同研究）

吉田直彦、古川慎哉、三宅映己、上田晃久、新谷哲司、宮岡弘明、酒井武則、松浦文三、恩地森一

高齢糖尿病患者における健康食品摂取に関する実態調査（愛媛 DM 連携サークル多施設共同研究）

小堀友恵、古川慎哉、三宅映己、上田晃久、新谷哲司、山内一彦、川本龍一、宮内省蔵、南 尚佳、田丸正明、酒井武則、山下治彦、谷口嘉康、宮岡弘明、松浦文三、恩地森一

愛媛 DM 連携 CIRCLE の活動状況に関する検討 第 2 報

宮岡弘明、古川慎哉、吉田直彦、三宅映己、上田晃久、小堀友恵、新谷哲司、芝田直純、石川真紀、山内一彦、川本龍一、南 尚佳、酒井武則、宮内省蔵、田丸正明、山下善正、山下治彦、谷口嘉康、松浦文三、恩地森一

地域医療崩壊と糖尿病病診連携—八幡浜糖尿病連携サークル—

酒井武則、長谷部晋士、竹治 智、古川慎哉、松浦文三、恩地森一

② 地方会

第 9 回 日本内分泌学会中国四国地方会（2009. 9. 19、松山市）

選択的動脈内カルシウム注入法（ASVS）でのみ局在診断が可能であったインスリンノーマの 1 例

酒井武則、的場勝弘、山本尚幸、原井川豊章、上村重喜、松井洋人、蕪村秀明、國吉巖

日本糖尿病学会中国四国地方会第 47 回総会（2009. 11. 6-7、岡山市）

当院における糖尿病薬の服薬コンプライアンスの検討

宮本和典、酒井武則、谷本千鶴子、村上保美、駿河陽子、竹本真由美、木戸美江子、川野理津子

速効型インスリン分泌促進薬と遅効型溶解インスリンアナログ併用療法の長期有用性の検討

酒井武則、長谷部晋士、古川慎哉、松浦文三、恩地森一

病診連携手帳を用いた情報共有の試み—病診連携時の栄養指導について—

大家こず恵、井上貴美子、薬師神江利、酒井武則、古川慎哉、恩地森一

第 101 回 日本内科学会四国地方会 (2009. 11. 22、高松市)

内科的治療に抵抗性であった糖尿病合併腸腰筋膿瘍の 1 例

長谷部晋士、山本尚幸、仙波尊教、上村重喜、酒井武則、須賀紀文、温泉川一喜、坂上秀樹、堀田恵司、久保敬

③ 研究会

第 14 回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会 (2009. 6. 11 八幡浜市)

当院のフットケアの取り組みについて

川野理津子、此上保美、谷本千鶴子、駿河陽子、竹本真由美、岡崎千鶴、木戸美江子

第 14 回愛媛糖尿病カンファレンス (2009. 7. 6 大洲市)

糖尿病療養指導により血糖コントロールが安定した 1 例

此上保美、谷本千鶴子、駿河陽子、川野理津子、竹本真由美、岡崎千鶴、木戸美江子、酒井武則

第 15 回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会 (2009. 10. 15 八幡浜市)

当院における高齢インスリン使用患者の実態調査

竹本真由美、川野理津子、此上保美、谷本千鶴子、駿河陽子、岡崎千鶴、木戸美江子

(2) 論文発表

酒井武則、古川慎哉、三宅映己、上田晃久、小西一郎、横田智行、阿部雅則、日浅陽一、松浦文三、恩地森一:みかんの大量摂取を契機にケトーシスで発症した 2 型糖尿病の 1 例. 糖尿病 2009 ; 52 : 301-303

井上貴美子、井上昌子、大家こず恵、薬師神江利、酒井武則、竹治 智:糖尿病の病診連携における管理栄養士の役割. 日本病態栄養学会誌 2009 ; 12 : 217-221

(3) 講演・司会・座長

① 講演

第 4 回新居浜 DM 連携サークル (2009. 7. 29 新居浜市)

当院の糖尿病診療と病診連携の実際 酒井武則

第 3 回大洲 DM 連携サークル (2009. 9. 16 大洲市)

糖尿病外来診療のコツ 酒井武則

愛媛県徳島県合同 Round Table Discussion (2009. 9. 26 松山市)

愛媛県における糖尿病対策の現状 酒井武則

第 28 回愛媛内分泌代謝疾患懇話会 (2009. 10. 22 松山市)

話題提供「糖尿病の病診連携」 酒井武則

第 35 回岬地区勉強会 (2009. 11. 18、伊方町)

高齢者糖尿病の臨床 酒井武則

愛媛 DM 連携サークル講演会 2009 (2009. 12. 19 松山市)

パネルディスカッション「病診連携をめざして」 酒井武則
第4回大洲DM連携サークル（2010.3.10 大洲市）

症例より考える糖尿病の話題 酒井武則

糖尿病医療連携フォーラム（2010.3.13 松山市）

パネルディスカッション5

糖尿病の医療連携における手帳の役割 酒井武則

パネルディスカッション7

医療連携における管理栄養士の役割 井上貴美子

パネルディスカッション8

医療連携における看護師の役割 駿河陽子

第42回愛媛糖尿病チーム医療研修会（2010.3.27 松山市）

パネルディスカッション「外来インスリン導入」

クリニカルパスを用いたインスリン導入 此上保美

② 司会・座長

八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会での座長 多数（年3回開催） 酒井武則

八幡浜DM連携Circleでの座長 多数（年4回開催） 酒井武則

第14回愛媛糖尿病カンファレンス（2009.7.6 大洲市）

一般演題 座長：酒井武則

脂肪酸代謝と炎症フォーラム（2009.7.17 松山市）

一般演題 座長：酒井武則

第15回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会（2009.10.15 八幡浜市）

CDE 部会司会：駿河陽子、宮本和典

総合司会：薬師神江利、川野理津子

第5回愛媛軽症糖尿病懇話会（2009.11.12 松山市）

教育講演1 座長：酒井武則

循環器内科

1 概要

循環器内科は、急性心筋梗塞を含めた急性冠症候群に対する緊急の血管内治療や、不整脈に対する緊急ペーシングなどに 24 時間体制で対応しています。心臓だけでなく、末梢動静脈に対するインターベンション、カテーテルアブレーションも施行しております。

地域の開業医との連携を強めるために地域連携懇話会を開いており、出席してもらっています開業医の先生方に感謝するとともに、さらに多くの医師に参加して頂けるように努力しています。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

上村重喜

資格：日本内科学会総合内科専門医、認定内科医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導

所属学会：日本内科学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本不整脈学会、日本心血管インターベンション学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心臓病学会

3 平成 21 年度専門的診断術および実績

心エコー	2,262 例
経食道心エコー	5 例
頸部エコー	263 例
下肢エコー	168 例
マスター負荷心電図	39 例
トレッドミル負荷試験	10 例
心筋シンチ	56 例
心臓 MRI	2 例
心臓カテーテル検査	139 例
その中で経皮的冠動脈形成術 (PCI) は	61 例
末梢動脈・静脈に対するカテーテル治療	9 例
(下大静脈フィルター留置術含む)	
心臓電気生理学的検査およびペースメーカ治療	
恒久式ペースメーカ植え込み	35 例
(ジェネレーター交換含む)	
不整脈に対するカテーテルアブレーション	0 例

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

第 101 回日本内科学会四国地方会 (2009. 11. 22、高松市)

心膜切開術により軽快した滲出性収縮性心膜炎の 2 例

上村重喜、長谷部晋士、仙波尊教、山本尚幸、酒井武則

内科的治療に抵抗性であった糖尿病合併腸腰筋膿瘍の 1 例

長谷部晋士、山本尚幸、仙波尊教、上村重喜、酒井武則、須賀紀文、温泉川一喜、坂

上秀樹、堀田恵司、久保敬

小児科

1 外来診療日程

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	一般外来 (小西)	一般外来 (小泉)	一般外来 (小西)	一般外来 (小泉)	一般外来 (小西)
午後	一般外来 (小泉) 循環器外来 (小西)	慢性疾患 予防接種 (小西)	乳児健診 BCG 接種 (小泉)	一般外来 (小泉)	一般外来 (小西)

※ 毎月第1木曜日午前は、小児神経外来（福田医師）を併設

※ 毎月第3金曜日午後は、小児循環器外来（檜垣医師）を併設

2 スタッフ紹介

(1) 医師

① 常勤

小西 恭子（こにし きょうこ）：科長（専門：小児科一般、小児循環器）

平成7年 鳥取大学医学部卒業

資格 日本小児科学会専門医

日本小児循環器病学会暫定指導医

所属学会 日本小児科学会、日本小児循環器病学会、胎児心臓病研究会、
日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会、日本心エコー図学会、日
本未熟児新生児学会、日本川崎病学会

小泉 宗光（こいずみ むねみつ）：医員（専門：小児科一般、小児アレルギー）

平成16年 愛媛大学医学部卒業

所属学会 日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会

② 非常勤

檜垣 高史（ひがき たかし）：愛媛大学医学部循環器病センター 准教授

昭和63年 愛媛大学医学部卒業

資格 日本小児科学会専門医、日本小児循環器病学会評議員、日本小児循環器病
学会暫定指導医、日本周産期・新生児学会指導医

福田 光成（ふくだ みつまさ）：愛媛大学医学部周産期センター 准教授

平成3年 愛媛大学医学部卒業

資格 日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本てんかん学会認定
医・臨床専門医

3 統計

(1) 入院患者数

年度	人数
平成 19 年	437 人
平成 20 年	360 人
平成 21 年	387 人

(2) 外来患者数

平成 21 年 5,497 人

4 科の特徴

小児科外来は、現在 2 名の体制で診療を行っております。午前中は一般診療を行い、午後は、火曜日、水曜日については、一般診療をお断りし、慢性疾患外来など専門外来を行っております。また、循環器専門外来は、檜垣高史医師（月一回）に加え、小西医師が毎週月曜日の午後に行っております。これにより、学校心電図検診の二次精査目的の生徒の受診や、先天性心疾患が疑われる新生児の紹介にも随時対応ができるようにいたしました。今後も地域の小児医療に貢献できるように、2 名で切磋琢磨して頑張っていこうと思っております。

5 学術活動

(1) 学会・研究会発表

第 21 回四国小児アレルギー研究会（2009 年 6 月、丸亀市）

負荷試験が原因食物の同定に有用であった食物依存性運動誘発アナフィラキシーの一例

小泉宗光、小西恭子、楠目和代

外科

1 スタッフ紹介

(1) 医師

國吉 巖 : 副院長 昭和 45 年 山口大学医学部卒業
昭和 53 年 当院赴任

所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本大腸肛門病学会

的場 勝弘 : 科長 平成 8 年 山口大学医学部卒業
平成 19 年 4 月 当院赴任

所属学会：日本消化器外科学会専門医、日本外科学会専門医、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本内視鏡外科学会

蘓村 秀明 : 医長 平成 11 年 山口大学医学部卒業
平成 20 年 2 月 当院赴任

所属学会：日本外科学会専門医、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本内視鏡外科学会

松井 洋人 : 医員 平成 17 年 山口大学医学部卒業
平成 21 年 4 月 当院赴任
平成 22 年 3 月 転任（後任 来嶋 大樹）

所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会

2 科の特徴

当院外科は消化器外科と一般外科（乳腺等）を専門としており、山口大学第二外科（現：消化器・腫瘍外科）から 40 年以上途切れることなく医局員が派遣されています。

平成 21 年の手術症例は 301 例（うち全身麻酔 156 例）でした。手術術式に関しては、手術適応を判断しながら腹腔鏡を用いた低侵襲手術などに取り組んでいます。

近年、医師の都市集中などにより消化器内科医が減少していますが、当科においては内視鏡検査（胃内視鏡・大腸内視鏡など）にも積極的に取り組み、診断から治療まで一貫して行っています。術後抗癌剤治療に関しては胃癌、大腸癌治療ガイドライン等を参考にしながら、大学病院または都会の市中病院と同等な治療ができるよう心がけています。

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会等に所属し、活発な学会発表を行いながら、日進月歩の知識・技術の習得に努め、患者様第一と考え、4 人一丸となって地域医療に邁進しています。

3 平成 21 年の手術症例

胃癌 : 9 例 乳癌 : 15 例

結腸癌：	18 例	胆石胆嚢炎：	32 例（うち 22 例は腹腔鏡下手術）
直腸癌：	11 例	総胆管結石：	9 例
腸閉塞の手術：	7 例	虫垂炎：	10 例（うち 3 例は腹腔鏡下手術）
肝癌：	1 例	腓腫瘍：	1 例
ヘルニア：	32 例		
その他の全身麻酔：	30 例		
痔核・痔ろう手術：	65 例		
その他の脊椎麻酔・局所麻酔手術：	61 例		

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

第 71 回日本臨床外科学会総会（2009 年 11 月）

「上部消化管穿孔に対し保存的加療中に急性胆嚢炎を併発した 1 例」

蘓村秀明, 松井洋人, 的場勝弘, 國吉巖

整形外科

1 スタッフ紹介

(1) 医師

院長：久保 敬（くぼ たかし）

出身大学：広島大学（昭和 46 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医、医学博士

専門分野：手の外科、整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、日本手の外科学会、中部日本整形災害外科学会評議員 他

科 長：堀田 恵司（ほりた けいじ）

出身大学：広島大学（昭和 56 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医、医学博士

専門分野：膝関節外科、整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、日本膝関節学会、中部日本整形災害外科学会評議員 他

医 長：坂上 秀樹（さかうえ ひでき）

出身大学：関西医科大学（平成 11 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

医 長：温泉川 一喜（ゆのかわ かずき）

出身大学：愛媛大学（平成 13 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

医 員：須賀 紀文（すが のりふみ）

出身大学：金沢医科大学（平成 17 年卒）

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

2 科の紹介

現在、整形外科医 5 人体制で外来・病棟診察、救急診療、手術を行っています。外傷による四肢

骨折・脱臼、靭帯損傷などの急性疾患、変形性関節症、関節リウマチ、脊椎脊髄疾患といった慢性疾患など、運動器疾患全般を診療しています。八幡浜という地域性から、概して高齢者の大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折、脊椎圧迫骨折などの骨粗鬆症による症例が多い傾向にあるようです。また若年者に対しても、先天性股関節脱臼検診やスポーツ外傷・障害の治療にも積極的に取り組んでいます。疾患部位としては、手の外科・膝関節外科を中心に診察していますが、当科で対応可能であれば特に制限を設けることなくすべて受け入れる所存です。日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会等種類の学会に所属し、積極的に学会参加し研鑽を積みながら知識・技術の向上に努め、地域に根ざした医療を今後も行っていきたいと思います。

3 手術件数（平成 21 年度）

（1） 総数

478 件

（2） 内訳

骨折観血的手術	83 件
創傷処理	69 件
骨折非観血的整復術	47 件
骨内異物（挿入物）除去術	46 件
腱鞘切開術	30 件
鋼線等による直達牽引	28 件
関節脱臼非観血的整復術	26 件
人工骨頭挿入術	20 件
皮膚切開術	13 件
腱縫合術	12 件
骨折経皮的鋼線刺入固定術	10 件

など

4 学術活動

（1） 論文発表

患肢を温存し得た大腿部壊死性筋膜炎の 1 例

坂上 秀樹 堀田恵司 ほか

中国・四国整形外科学会雑誌 21 巻 2 号

皮膚科

1 概要

南予では、公的病院・診療所の数は少なくありませんが、皮膚科の常勤医がいる病院は極めて少数です。その上皮膚科専門医は都市部に集中する傾向があります。そのため郡部では早期受診、診断確定の機会を失い、病状が進んで来院される患者様が少なくありません。当科ではこれらを踏まえ、いわゆる「西予」地区における、ただひとつの常設皮膚科のある病院としての役割を果たし、この地域の患者様が専門的な診断や治療が受けられるようサポートを行っていきたいと考えております。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

松田光司

昭和 51 年 鹿児島大学医学部卒業

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

医学博士

3 診療内容

(1) 皮膚科診療について

皮膚科一般を対象とするが、難治性疾患や広範囲、複雑な部位の皮膚癌については、愛大皮膚科、形成外科と連携し対応しています。

(2) 形成外来について

毎月第 4 水曜日の午後に、愛大形成外科医による診察と外来手術を行っています。完全予約制ですので、前もって一度皮膚科を受診し、予約を取ってください。また愛大医師の都合により日時が変更になる場合があります。

(3) 褥瘡（とこずれ）について

急速に進む高齢化社会の中で、寝たきり状態の問題が最近クローズアップされてきております。八西地区は他の市町村に比べて高齢者の割合が多いため、長期臥床に伴って発生する褥瘡の患者様の増加が当然予想される状況です。当院では、これに対応するため、平成 14 年春に褥瘡対策委員会を設置しました。医師、看護師、栄養士を中心としたスタッフが連携を取りながら、エアマットやクッションの選定、スキンケア、栄養管理、治療方針の決定など定期的に協議を行っております。各病棟に配属された、褥瘡のエキスパートナースが中心となり、入院時すでに褥瘡ができていた患者様だけでなく、褥瘡ができる可能性がある患者様に対しても、予防的対応を行っております。皮膚科もこのチーム医療の一員として、患者様のアメニティの向上にお役に立ちたいと考えております。

4 学術活動

なし

泌尿器科

1 スタッフ紹介

(1) 医師

武田 肇 (たけだ はじめ)	副院長	前 愛媛大学医学部附属病院 講師 日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本透析医学会 専門医・指導医 日本泌尿器科学会 西日本評議員	医学博士
柳垣 孝広 (やながき たかひろ)	医長	前 香川県済生会病院泌尿器科医長 日本泌尿器科学会 専門医・指導医	

※ 施設認定：日本泌尿器科学会基幹教育施設・日本透析医学会教育関連施設

2 平成 21 年度透析関連実績

血液透析患者 最大 54 人

腹膜透析患者 最大 16 人

3 平成 21 年手術統計 (学会統計に従い 2009.01.01.-2009.12.31 分)

(1) 副腎・腎臓・尿管

根治的腎摘出術 (腎癌)	4 件
根治的腎尿管全摘術 (腎盂・尿管癌)	5 件
腎盂形成術 (腎盂尿管移行部狭窄症)	1 件
腎切石術 (腎サンゴ状結石)	1 件
尿管切石術 (尿管結石)	2 件
尿管鏡・腎盂尿管生検	4 件
経皮的腎瘻造設術	7 件

(2) 膀胱

膀胱全摘出・回腸導管造設術 (膀胱癌)	3 件
経尿道的膀胱腫瘍切除術 (膀胱癌)	20 件
膀胱尿管新吻合術 (膀胱尿管逆流症)	1 件
膀胱切石術 (膀胱結石)	3 件
経尿道的膀胱碎石術 (膀胱結石)	3 件
経尿道的異物摘出術 (膀胱内異物)	1 件
経皮的膀胱瘻造設術	1 件

(3) 前立腺・尿道

根治的前立腺全摘術 (前立腺癌)	10 件
経尿道的前立腺切除術 (前立腺肥大症)	38 件
恥骨後式前立腺摘除術 (前立腺肥大症)	1 件
経尿道的尿道形成術 (尿道狭窄)	3 件

	膀胱脱・尿失禁根治術等（膀胱脱・尿失禁など）	4件
	経直腸的前立腺生検	52件
(4)	精巣・陰茎	
	高位精巣摘除術（精巣癌）	1件
	精巣摘除術（前立腺癌）	1件
	陰囊・精索水腫根治術	2件
	包茎手術	2件
(5)	透析関連	
	内シャント造設術（人工血管をふくむ）	17件
	CAPDカテーテル留置術など	9件
	シャントPTA	82件
(6)	その他	8件
(7)	体外衝撃波結石破砕術（腎・尿管結石）	82件
	合計	368件

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

透析新聞発行5年半を振り返って

石見 久美 ほか（第54回日本透析医学会総会 2009.06.05 横浜市）
左鎖骨下動脈起始部に閉塞を認めた患者の同側前腕に内シャントを作成し順調に経過している1例

柳垣 孝広 ほか（第54回日本透析医学会総会 2009.06.05 横浜市）
膀胱小細胞癌に対しエトポシド+カルボプラチンが奏功した1例

武田 肇 ほか（第85回日本泌尿器科学会四国地方会 2009.07.04 松山市）
当院の透析関連機器管理 ～改正医療法に照らし合わせて～

兵頭 崇之 ほか（第20回愛媛人工透析研究会 2009.08.29 大洲市）
バスキュラーアクセス情報カルテ作成による一貫した看護を目指して

宮本 恵子 ほか（第43回四国透析療法研究会 2009.10.11 松山市）

(2) 論文発表

鎖肛術後で巨大結腸を有する成人に対するCAPD導入の一例

柳垣 孝広 高橋 真司 武田 肇 中野 吉朗

（日本透析医学会雑誌 43（2）:209-213,2010）

(3) 講演・座長

第20回愛媛人工透析研究会 2009.08.29 大洲市

代表世話人 武田 肇

八幡浜医師会学術講演会での座長ほか多数

武田 肇

産婦人科

1 概要

当院産婦人科においては、妊婦健診・分娩や、子宮癌検診を含む婦人科検診、良性疾患の薬物療法や手術療法などを行っています。

総合病院で、麻酔科や小児科と迅速な連携をとれるメリットがあるため、中等度のハイリスク妊娠・分娩の管理はできるだけ当院で行うことを目標としています。

婦人科良性疾患に関しては、簡単な手術は当院で行っています。また、悪性疾患に関しては、初期治療を松山の大学病院やがんセンターに依頼し、状態が落ち着いた後は当院にて継続治療や緩和ケアなども引き続き行えるような連携をとっています。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

科長 山中 研二

愛媛大学 昭和 62 年卒

母体保護法指定医

日本産科婦人科学会専門医

医長 月岡 美喜

愛媛大学 平成 12 年卒

日本産科婦人科学会専門医

(2) 助産師

8 名

3 2009 年度実績

総分娩数	84 件	(うち双胎 1 件)
帝王切開術	18 件	(緊急帝王切開術 4 件)
急遂分娩	3 件	
婦人科手術		
腹式子宮全摘術	3 件	
膣式子宮全摘術	9 件	
付属器切除術	3 件	
子宮筋腫核出術	2 件	
卵巣腫瘍核出術	2 件	
子宮頸部円錐切除術	3 件	
その他	17 件	
他院よりの外来紹介患者	86 件	(地域医療連携室経由 33 件)

4 学術活動

なし

眼科

1 概要

当科は眼科一般疾患を対象として外来診療を月～水曜日の午前中に行っています。

検査では蛍光眼底造影、眼底写真撮影、超音波検査、角膜形状解析、角膜内皮細胞検査、視野検査などに対応しています。

レーザー治療についてはマルチカラーレーザー、YAG レーザー、SLT レーザーを備えており、糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症などの網膜疾患、緑内障、後発白内障などに対応しています。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

依光 明生 (よりみつ あきお)

平成 13 年 大阪医科大学卒業

日本眼科学会認定 眼科専門医

所属学会：日本眼科学会、日本眼科手術学会、日本角膜学会、日本眼感染症学会

3 学術活動

なし

耳鼻咽喉科

1 診療科の特徴

当科では手術治療が必要な方を含め、耳鼻咽喉科頭頸部外科領域を広く診療しています。中耳・鼻咽喉の難治性感染症、突発性難聴やメニエール病などの内耳疾患、顔面神経麻痺等を専門にしています。手術の主なものは、中耳、鼻副鼻腔、咽喉頭、頭頸部の炎症性疾患および良性腫瘍、外傷等です。症例によっては、日帰り手術やショートステイ手術も行っています。

また補聴器専門外来を設けています。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

佐々木 康

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医

日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医

3 2009年度の主な手術

鼓膜形成術	2件
鼓室形成術	2件
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	16件
鼻中隔矯正術	5件
その他鼻科手術	23件
扁桃摘出術	5件
その他口腔咽頭手術	5件
喉頭微細手術	2件
気管切開術	2件

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

第20回愛媛県耳鼻咽喉科内視鏡手術研究会（2009.4.18 松山市）

「当科における一側性副鼻腔炎の検討」

佐々木 康

(2) 講演・座長

第54回日本耳鼻咽喉科学会愛媛県地方部会学術講演会（2009.4.19 松山市）

一般演題 座長：佐々木 康

放射線科

1 概要

当院で行う全てのCT、MRI、核医学検査の画像診断、心臓を除く全ての領域の血管造影診断を日常業務としています。さらに、低侵襲（患者様に優しい）といわれている血管内手術（肝臓癌の塞栓術、外傷性出血の止血術、透析シャントトラブルに対する血管形成術など）を受け持っています。

平成17年10月に高磁場MRIが最新機種に更新され、同時にCT、MRIはモニター診断もできるようになりました。

また、平成18年7月には血管造影装置が更新され、循環器専用と循環器以外の領域用の2台が当院に導入されています。

平成20年度途中に64列CTが導入され、CT冠動脈造影、CT colonographyなど先端的な検査も可能となりました。さらに得られた画像は画像サーバに保存しモニター診断を開始しました。また年度末ごろにはサーバから画像データや放射線科の所見をウェブ配信するシステムが稼働しました。

平成21年度より転移性骨腫瘍の除痛を目的としたRI治療（メタストロン）を開始しました。

2 スタッフ紹介

医師2名、診療放射線技師6名、看護師4名、事務2名

(1) 医師

山本 尚幸 副院長

愛媛大学医学部医学科 昭和61年卒業 医学博士

専門分野：放射線診断一般、核医学診断、IVR（血管内手術）

取得専門医等：日本医学放射線学会専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

日本医師会安全管理推進者

原井川 豊章 放射線科医長

愛媛大学医学部医学科 平成9年卒業 医学博士

専門分野：放射線診断一般

3 業績

(1) 読影レポート作成枚数

	平成21年度
一般撮影	3,655
マンモグラフィ	593
上・下部消化管造影	1,012
CT	5,403
MRI	2,246
RI	238
血管造影	96

(2) 検査施行件数

	平成 21 年度
上・下部消化管造影	921
血管造影 (造影のみ)	2
Vascular IVR	74
Shunt PTA	71
TAE, TACE, PTR	2
Others	1
Nonvascular IVR	0
RI 治療	1 (メタストロン)

4 学術活動

(1) 講演

平成 21 年 7 月 岡山市 岡山県緊急被ばく医療基礎講座 I

汚染を伴った外傷患者の取り扱い 山本尚幸

平成 21 年 8 月 松江市 緊急被ばく医療初級講座

机上演習：松江地域の仕組みを理解する 山本尚幸

平成 21 年 8 月 八幡浜市 第 3 回八西地域医療懇話会

メタストロン静注療法について 山本尚幸

平成 21 年 8 月 松山市 愛媛県緊急被ばく医療初級講座

机上演習：愛媛地域の仕組みを理解する 山本尚幸

平成 21 年 9 月 札幌市 第 13 回放射線事故医療研究会

シンポジウム JCO 臨界事故から 10 年後の今を検証し、これからの緊急被ばく医療のあり方を探る 地域の緊急被ばく医療から 山本尚幸

平成 21 年 9 月 八幡浜市 緊急被ばく医療専門講座 I

救助活動特論 放射線災害の危険 山本尚幸

平成 21 年 9 月 石巻市 宮城県緊急被ばく医療初級講座

緊急被ばく医療の実際 山本尚幸

平成 21 年 10 月 松山市 愛媛県緊急被ばく医療基礎講座 I

除染実習－汚染を伴った外傷患者の取り扱い－ 山本尚幸

平成 21 年 12 月 高浜町 緊急被ばく医療専門講座 I

救助活動特論 放射線災害の危険 山本尚幸

平成 21 年 12 月 松山市 第 4 回松山救急医療懇話会

地域医療の危機に瀕して我々の行ったこととこれから行うべきこと 山本尚幸

平成 22 年 1 月 八幡浜市 第 4 回八西地域医療懇話会

認知症における脳血流シンチグラフィ－ SEE と 3D-SSP 山本尚幸

麻酔科

1 麻酔科の紹介

越智科長が赴任して5年目の年となりました。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

越智元郎

日本麻酔科学会指導医、日本救急医学会指導医、愛媛大学医学部麻酔・蘇生学 非常勤講師、愛媛大学医学部救急医学 非常勤講師

3 診療実績

(1) 麻酔診療

平成21年度の麻酔科管理の手術は282件（前年度322件、以下同様）で、うち255件（303件）が全身麻酔、残りは脊椎麻酔、硬膜外麻酔などでした。診療科別の麻酔科管理症例数は外科138件（168件）、整形外科95件（112件）、泌尿器科28件（24件）、耳鼻咽喉科18件（15件）、産婦人科2件（3件）などとなっていました。

(2) 入院・外来診療

一方、救急患者を中心とする当科の入院延患者数は1301人（前年度280人）で1日当たりの入院患者数は3.6人（0.8人）、新規入院患者数総数は106人（同27人）で、平均在院日数は11.9人（同11.2人）でした。外来延患者数は123人（同23人）となっています。

4 教育研修

今年度は研修医の受け入れはありませんでした。救急救命士の研修としては、就業前病院実習を2名に対し約42日、再教育病院実習を13名に対し約36日、気管挿管研修を4名に対し約101回（成功例のみ集計）、薬剤投与研修を3名に対し約24日実施しました。

5 学術活動

(1) 学会・研究会発表

越智元郎ほか、心肺蘇生法に関する各国資料のボランティア翻訳活動。日本麻酔科学会第56回学術集会（8月17日、神戸市）

(2) 論文発表

越智元郎、現場からみた市立八幡浜総合病院の救急受け入れ停止。八幡浜市医師会報 第71号 p.12-20, 2009)

越智元郎、医師の蘇生能力：すべての医師に心肺蘇生の能力が求められる。医療 91(12)：2046-2047, 2009

(3) 講演・講義

応急処置：災害医学事始め（7月24日、愛媛大学医学部1年次講義）

心肺蘇生法（11月24日、愛媛大学医学部4年次講義）

歯科口腔外科

1 概要

歯科口腔外科外来では、口腔外科を主体とする歯科診療を提供しています。埋伏歯の抜歯、口腔内の腫瘍・嚢胞の摘出手術や白板症などの粘膜疾患、癌や骨髄炎、外傷など、広く顎口腔領域に見られる疾患についての診断と治療を行っています。また、舌痛症、口腔乾燥症、顎関節症などの口腔内科的疾患にも対応しています。さらに、心臓病や糖尿病、透析を受けられている方など、全身的な病気をお持ちの方や、体が不自由で一般歯科医院への通院が困難な方への一般歯科治療も行っています。

2 スタッフ紹介

(1) 医師

浜川 裕之 (金曜日午前 担当)

昭和 52 年 大阪大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医・指導医

所属学会

日本口腔外科学会 (評議員)、日本口腔科学会 (理事・評議員)、日本口腔腫瘍学会 (評議員)、日本口腔インプラント学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔粘膜学会 (評議員)、日本口腔組織培養学会 (理事)、日本唾液腺学会、日本分子生物学会、**American Association for Cancer Research、International Association of Oral and Maxillofacial Surgery、International Congress on Oral Cancer**

中城 公一 (水曜日 担当)

平成 5 年 徳島大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医

所属学会

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔組織培養学会、**American Association for Cancer Research、American Society of Clinical Oncology、Asian Association of Oral and Maxillofacial Surgery**

住田 知樹 (月曜日 担当)

平成 6 年 大阪大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医

所属学会

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌

学会、日本病理学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔組織培養学会、日本口腔診断学会、
日本口腔インプラント学会、日本有病者歯科医療学会、日本顎顔面インプラント学会、
**American Association for Cancer Research、Asian Association of Oral and
Maxillofacial Surgery**

3 臨床成果

平成 21 年度の外来患者症例の一部を以下に示します。(2009 年 4 月～2010 年 3 月末現在)

埋伏智歯・正中過剰埋伏歯	153 例
粘液嚢胞	5 例
顎関節症	71 例

4 学術活動

なし

リハビリテーション室

1 概要

急性期疾患を中心に他部門および地域と連携を図り、最適で良質なリハビリテーションを提供しています。

(1) 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅱ)

運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)

呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)

心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)

(2) 院内活動

振動病等検査補助業務

筋電図検査

意見書等の身体計測等

糖尿病運動指導

NST

退院時支援業務

リハ科内勉強会、症例報告会

実習、体験受け入れ

高知医療学院、愛媛十全医療学院、黒潮医療専門学校、健康科学大学、豊橋創造大学

中学校職場体験

(3) 院外活動

八幡浜市介護保険審査会

伊方町 脳卒中再発予防教室

伊方町 特定高齢者筋力アップ教室

伊方町 転倒防止教室

つわぶき荘 リハビリ教室

2 スタッフ紹介

医師 1 名 (リハビリテーション科)

理学療法士 5 名 (内 1 名は呼吸療法士認定あり)

作業療法士 1 名

看護助手 4 名

3 統計

脳血管疾患等リハビリテーション料 8005 単位

運動器リハビリテーション料	19914 単位
呼吸器リハビリテーション料	187 単位
心大血管疾患リハビリテーション料	1619 単位
早期加算	11714 件
リハ総合計画評価	508 件
物理療法	9040 件
退院時リハ指導	690 件

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

タイトル : 「心臓リハビリテーションについて」

発表者 : 大原 生久

会の名称 : 八西地区病診連携懇話会

日時、場所 : 2009.4.10 市立八幡浜総合病院

タイトル : 「呼吸介助について」

発表者 : 河野 孝春

会の名称 : 南予地区メディカルコントロール消防職員研修会

日時、場所 : 2009.11.22 宇和島市

臨床病理科

1 概要

臨床病理科では採血、血液検査、生化学免疫検査、細菌検査、輸血検査、病理・細胞検査、生理検査等を行っています。病気の診断や治療に役立つよう、「正確で早く」をモットーに医師や看護師へ情報を提供しています。

他病院にさきがけ始めた早朝検査も 6:00、7:00、8:30 という 3 段階の時間差出勤に進化し、病棟の検体検査については 8:30 までに検査が終了しているという画期的なシステムをとっています。そのために、検査に要する自動分析機も大型の物でなく、中型で小回りの利く経済的な物で対応できるようになりました。また 8:30 から診察される外来患者様の検査も、よりスムーズに進めることができます。遠方よりお越しの方々には、検査結果の説明を受けに何度も足を運ぶことのないよう、特殊な検査以外は当日での対応を心がけています。

今年度は定年退職が 1 名、職員の補充なしで残されたスタッフには、さらに大変な年となりましたが、守備範囲のフレキシブルな変更で、対応しています。医療の質が問われる現在、スタッフにはそれぞれ目標を持たせ、レベルアップに努めるため積極的に認定免許を取得すべく日々勉強しております。そして新しい試みに常に前向きに取り組んでいけるアクティブな検査室を目指していきたいと思っています。

2 平成 21 年度統計

分類	件数
一般検査	126,026
血液検査	134,876
生化学検査	370,673
血清検査	5,602
病理検査	792
細胞検査	2,008
細菌検査	5,670
生理検査	13,587
合計	659,234

3 スタッフ紹介

	正職員	臨時職員	パート
4 月～3 月	臨床検査技師 11 名	准看護師 1 名	臨床検査技師 1 名

4 認定免許

細胞検査士	1名
循環器超音波検査士	1名
消化器内視鏡技師	1名
二級臨床検査士血液	1名
二級臨床検査士循環生理	1名
血管領域超音波検査士	1名
特定化学物質取扱責任者	1名
糖尿病療養指導士	1名

5 学術活動

(1) 学会・研究会発表

- 山村 展央 平成 21 年 4 月 25 日 第 20 回心エコー図学会学術集会ポスター発表
「救急外来で診断し得た左側心膜欠損症の一例」
平成 21 年 5 月 8 日 愛媛県超音波研究会
「虚血性心疾患の 3 症例」
平成 21 年 6 月 12 日 愛媛県超音波研究会
「低酸素血症の一例、左側心膜欠損症の一例」
平成 21 年 11 月 第 42 回中四国臨床検査医学会シンポジウム
「頸動脈エコーのピットホール」
平成 21 年 12 月 南予循環器画像研究会
「症例提示 2 例」
此上 武典 平成 21 年 8 月 2 日 第 18 回愛媛県臨床細胞学会
「当院におけるベセスダシステムへの取り組み」

(2) 論文発表

なし

(3) 講演・座長・司会・企画

- 山村 展央 平成 21 年 4 月 25 日 愛媛末梢インターベンションカンファレンス (EPIC)
ハンズオンセミナー講師
平成 21 年 7 月 4 日 愛媛県南予技師会研修会 座長
此上 武典 平成 21 年 11 月 28 日 愛媛県臨床検査技師会中予南予合同研修会 企画・
司会

放射線室

1 概要、業務内容

CT (64 列マルチ)

MRI (1.5T)

血管造影装置 (心臓用、全身用の2台)

X線透視装置、2台

RI

骨密度測定装置 (DEXA)

乳房撮影装置

パノラマ (歯科用撮影装置)

一般X線撮影装置 3台 (CR)

ポータブル 3台

人間ドック 一般X線撮影装置

X線透視装置

骨密度測定装置 (PQ-CT)

2 スタッフ紹介

薬師神 昭裕

診療放射線技師

日本放射線技師会会員

日本放射線技師会認定

シニア放射線技師

放射線管理士

放射線機器管理士

日本放射線技術学会会員

日本放射線技術学会、撮影分科会会員

乳房撮影講習受講済

山中 万政

診療放射線技師

日本放射線技師会会員

平成 21 年愛媛県放射線技師会、学術大会発表 (CT)

平成 21 年愛媛県放射線技師会南予部会、夏季学術研修会発表 (CT)

平成 21 年愛媛県放射線技師会南予部会、冬季学術研修会発表 (CT)

臨床実習指導者研修受講済

乳房撮影講習受講済

- 河野 泰三 診療放射線技師
日本放射線技師会会員
心カテ、心臓 CT など循環器領域をメインに担当
- 山本 大地 診療放射線技師
日本放射線技師会会員
平成 21 年愛媛県放射線技師会南予部会、夏季学術研修会発表
日本放射線技師会認定
放射線管理士
放射線機器管理士
医用画像情報管理士
- 河内 望 診療放射線技師
日本放射線技術学会会員
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定技師
- 佐々木 大輔 診療放射線技師
日本放射線技師会会員
平成 21 年愛媛県放射線技師会、学術大会発表 (RI)
平成 21 年愛媛県放射線技師会南予部会、夏季学術研修会発表 (RI)
平成 21 年愛媛県放射線技師会南予部会、冬季学術研修会発表 (RI)

3 平成 21 年度検査件数

CT	5,403 件
MRI	2,246 件
一般撮影	16,408 件
血管撮影	270 件
透視検査	1,173 件
マンモ	593 件
RI	238 件
骨密度	457 件

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

平成 21 年 11 月 7～8 日 (土～日)

第 3 回愛媛県放射線技師会学術大会 於：レイグラッツェ ふじ (新居浜)

下部消化管出血における消化管出血の有用性 (パート 2) 佐々木大輔

MDCT による S 状結腸病変の抽出が有用であった症例 (パート 2) 山中 万政

平成 21 年 7 月 11 日 (土) PM 3 : 00～ (当院)

愛媛県放射線技師会南予部会夏季研修会

20G留置針と注入圧について

山本 大地

下部消化管出血における出血シンチの有用性

佐々木 大輔

MDCTによるS状結腸病変の抽出が有用だった一例

山中 万政

平成22年3月6日(土) PM3:00～(当院)

愛媛県放射線技師会南予部会冬季研修会

レノグラムの有用性～小児撮像プロトコールの検討～

佐々木大輔

業務改善～骨密度検査の見直し～

山本 大地

急性腹症におけるMPR画像が有用であった症例

山中 万政

薬局

1 概要

薬局は、6名の薬剤師、1名の技術職員および2名の事務員で構成しています。

薬剤師の任務は、調剤をはじめ医薬品の供給、その他薬事衛生を司ることにより公衆衛生の向上および増進に寄与し、国民の健康な生活の確保に努めることにあります。

薬局の業務は、調剤、製剤、薬品補給、薬品管理、医薬品情報管理、薬剤管理指導などがあります。

(調剤) 処方箋により医薬品を調整して交付します。

(製剤) 市販されていないが、臨床の場で必要な医薬品を製造します。

(薬品補給) 病院内で主に注射剤を交付・供給します。

(薬品管理) 薬品の在庫管理、品質管理、麻薬等の法規制がある薬品の管理をします。

(医薬品情報管理) 医薬品情報の収集・整理・伝達を行います。また、病院内・外からの薬についての問い合わせに答えます。

(薬剤管理指導) 入院患者様へ薬の説明や相談、患者様の薬の履歴を調べて飲み合わせや重複のチェックを行います。

以前の薬剤師業務の大半は外来患者様への薬の調剤でした。院外処方箋発行により、薬剤師の業務は入院患者様を主体とした業務に変わってきました。薬剤師がベッドサイドで医療スタッフと共に患者様の薬学的ケアを行うことに力を入れています。処方箋のチェック、薬による副作用や薬同士、サプリメントとの相互作用のチェック、患者様に合わせて服薬しやすいよう工夫することなど、薬剤師ならではの薬学的ケアが、医師によるケア、看護師によるケアと共に重要な業務となってきました。さらに、大学薬学部6年制がスタートし、より専門性を要求される時代になってきており、個々の自己研鑽も重要と考えています。

2 業務実績

平成 21 年度の薬局業務集計 (総数)

処方箋枚数

外来処方箋 1,031 枚

入院処方箋 24,822 枚

薬剤管理指導業務 4,190 件

3 学術活動

(1) 学会・研究会発表

日本糖尿病学会中国四国地方会第 47 回総会 (2009. 11. 6-7、岡山市)

当院における糖尿病薬の服薬コンプライアンスの検討

宮本和典

栄養療法科

1 概要

栄養療法科では、「おいしく食べていただく事」と同時に、食べる事で身体の内面から健康になるよう、患者様の病状に応じて適切な食事を提供し、疾病の治癒促進を図るという役割を担っています。また、様々な病態をもつ患者様に、それぞれの病態や理解度に応じて、日常の食生活を適切なものに改善できるようにアドバイスをを行い、日々患者様の健康回復に貢献できるよう努めています。

管理栄養士が担当病棟をもち、定期的に栄養スクリーニング・ベッドサイド訪問を行い、個々に応じた栄養管理を計画・実施しています。

2 スタッフ紹介

(1) 病院（3名）

大家こず恵（管理栄養士）

井上貴美子（管理栄養士）

薬師神江利（管理栄養士・愛媛県糖尿病療養指導士）

(2) 委託（19名）

管理栄養士2名、栄養士2名、調理員15名

3 統計

	外来件数	入院件数
個人栄養指導	851	1,035
集団栄養指導	56	2
栄養管理加算		64,279

出張集団栄養指導（病診連携先の医院にて無料で実施）2件

実習生の受け入れ 九州女子大学2名（2週間）・美作大学1名（2週間）

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

病診連携における栄養士の課題

大家こず恵

日本糖尿病学会中国四国地方会第47回総会、岡山県岡山市、2009.

(2) 論文発表

糖尿病の病診連携における管理栄養士の役割

井上貴美子

日本病態栄養学会誌 12（3）:217-221,2009

(3) 講演・座長

経管栄養剤の種類と高齢患者の栄養指導について

薬師神江利

第4回八西地域医療懇話会、八幡浜市、2010.1.15

医療連携における管理栄養士の役割

井上貴美子

糖尿病医療連携フォーラム、松山市、2010.3.13

医療機器管理室

1 概要

現在、我々臨床工学技士は人工透析室での慢性維持透析を中心とした血液浄化業務と合わせて、スタッフが安心・安全に医療機器を使用できるよう、日々医療機器保守管理業務に励んでおります。また、医療機器の操作のサポートや安全使用のための情報提供等も行っております。

2 スタッフ紹介

医療機器管理室室長 山本尚幸副院長（診療支援部長）

兵頭崇之（臨床工学技士）

宇都宮悠（臨床工学技士） 計3名

3 平成21年度医療機器保守管理統計

(件)

シリンジポンプ	使用前点検	224
	定期点検・修理	64
輸液ポンプ	使用前点検	2,465
	定期点検・修理	263
低圧持続吸引器	使用前点検	31
	定期点検・修理	10
人工呼吸器	使用前点検	50
	定期点検・修理	12
除細動器	定期点検・修理	23
透析関連機器	定期点検・修理	74
酸素テント	定期点検・修理	4
保育器	定期点検・修理	17
I A B P	定期点検・修理	11
心電計	定期点検・修理	16
麻酔器	定期点検・修理	49
血圧監視装置	定期点検・修理	19
患者監視装置	定期点検・修理	23
医療ガス関連器具	点検・修理	18

アフレスミス（延べ件数）

(件)

CHDF	11
DHP	3
その他	4

MEニュース : 4号発行

院内勉強会 : 8回実施

4 認定免許

透析技術認定士 1名

3学会合同呼吸療法認定士 1名

アフレスシ認定技士 1名

5 学術活動

(1) 学会・研究会発表

「透析新聞発行6年を振り返って」(共同研究)

石見久美、兵頭崇之ほか

第54回 日本透析医学会学術集会、2009.6.5～7 横浜市

「当院の透析関連機器管理～改正医療法に照らし合わせて～」

兵頭崇之

第20回 愛媛人工透析研究会、2009.8.29 大洲市

「バスキュラーアクセス情報カルテ作成による一貫した看護を目指して」(共同研究)

宮本恵子、兵頭崇之ほか

第43回 四国透析療法研究会、2009.10.11 松山市

看護部

1 看護部の理念

心は安心 技術は安全 笑顔で看護

2 看護方針

- (1) 私たちは、専門知識・技術をもち、患者さまの立場に立った思いやりのある看護を目指します
- (2) 私たちは、地域の皆様に信頼される看護を目指します
- (3) 私たちは、健全な経営にむけて努力します

3 平成 21 年度看護部目標

- (1) 一日の時間配分を考え時間内に仕事を終わらせるようにする
- (2) 受け持ち患者との関わりを持ち患者満足度を高める
- (3) 目標を持って計画的に自己学習をする。研修に参加する

4 スタッフ紹介（平成 21 年 4 月 1 日現在）

看護師 162 名 助産師 9 名 准看護師 16 名 看護助手 37 名
計 224 名

5 認定資格等

認定看護管理者	1 名
愛媛地域糖尿病療養指導士	4 名
呼吸療法指導士	2 名

6 人材育成

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 認定看護師教育（救急看護分野） | 1 名 |
| (2) 認定看護管理者制度（セカンドレベル教育） | 1 名 |
| (3) 平成 21 年度愛媛県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会 | 1 名 |
| (4) 保健師・助産師・看護師等実習指導者講習会 | 1 名 |
| (5) 日本看護協会医療安全管理者養成研修 | 1 名 |
| (6) 四国ストーリーナビリテーション講習会 | 1 名 |

7 実習・体験学習の受入れ

- (1) 帝京第五高等学校
- (2) 徳島県立看護学院看護学科 通信制（8 名）
- (3) 松山城南高校（6 名）
- (4) 中学生職場体験（愛宕・八代・保内中学校 5 名）
- (5) 愛媛県看護協会 訪問看護実習
- (6) 三崎高校 インターンシップ（2 名）
- (7) 看護力再開発講習（1 名）
- (8) 夏期看護師職場体験（中学生・高校生 37 名）

8 講師派遣

テーマ	氏名
認定看護管理者セカンドレベル教育「履修コンサルタント」	清水美智子
認定看護管理者セカンドレベル教育	清水美智子
平成 21 年度医療安全管理者養成研修	清水美智子
中学生の性教育講座（青石・愛宕・八代・真穴など）	原田 恵美
マタニティ倶楽部	是沢 妙子
帝京第五高等学校（母性看護・母性保健）	泉佳代・菊池絹美・ 薬師神光世
第 14 回南予 MC 宇和島 ICLS コース・基礎コースの事前準備、講義および実践トレーニング	川口久美・中根義貴
糖尿病予防教室	此上保美

9 行事・専門教室などの開催

行事名	開催日	参加者数
ふれあい看護体験	5月12日	6名
第9回ストーマ患者さまの集まり	11月7日	22名
糖尿病週間行事	11月13日	19名
糖尿病教室「たまごコース」	4回	30名
糖尿病教室「にわとりコース」	4回	6名
糖尿病教室「みどり会総会」	1回	14名
糖尿病教室「追加教育」	3回	15名
母親学級	毎月第1水曜日	38名
ストーマ外来	毎月第3水曜日	39名
フットケア外来	毎月第3水曜日	156名

10 平成 21 年度院内教育

研修名	目標	内容
年間研修	安全 1 注射のマニュアルを遵守する 2 効果的な抑制が実施できる	① 注射のデモスト ② 効果的な抑制方法のデモスト ③ 医療安全の動向・KYT
	感染 1 標準予防策を徹底し、感染対策を適切に遂行できる	① 標準予防策のデモスト ② 医療廃棄物の取り扱い ③ 機械器具の消毒と滅菌
	全体研修 1 自己研鑽ができる	褥瘡・医療ガス・企業の安全管理・転倒転落・感染の研修を6回施行
	1年目 1 看護に必要な基礎知識、看護技術が習得できる	基礎的な看護技術（吸引・体位交換・急変時の対応・食事介助・心電図）の知識と実演・人工呼吸器・中材実習

プリセプター	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリセプターが自分の役割を理解し、プリセプティを円滑に受け入れることができる 2 1年間の体験を通し、自己の成長へとつなげることができる 	<p>プリセプターとしての役割を学び、各部署のプリセプターと情報交換</p>
2年目	<ul style="list-style-type: none"> 1 組織における自己の立場を認識し、それぞれが持つ役割に責任を持ち看護実践を行う 2 自己の看護観を養う 3 自己学習の仕方が解り努力することができる 	<p>看護観を養うための抄読会 ケーススターデーをして看護の振り返り 職場内看護体験 看護観とは</p>
3年目	<ul style="list-style-type: none"> 1 看護研究の流れが理解でき、発表ができる（2年間） 	<p>昨年から研究に取り組み、院内で発表 文献検索 パワーポイントの使用法</p>
助手	<ul style="list-style-type: none"> 1 看護チームの中で自分の役割が自覚でき、一貫した看護ケアができる 	<p>消毒・器具の取り扱い方・車椅子への移乗・物品管理等の研修</p>
中堅研修	看護の基本	<p>チームリーダーの役割が理解でき、チームナーシングを再認識できる</p> <p>当院が目指す看護 無意識に行っているチームナーシングのあり方、守秘義務、そして、患者に寄り添う心の必要性をもう一度自分がしている看護と照らし合わせる</p>
	救急	<p>急変処置に関する知識や技術を習得し実践に活かす</p> <p>救急処置について「なぜ、そのようにするのか」 エビデンスに基づき実演 ACLS・BLS</p>
	その他	<p>安全・感染・記録研修</p>
管理研修	<ul style="list-style-type: none"> 1 組織の中での師長の役割を自覚し実践できる 	<p>組織で働くこと・師長の役割・病棟運営・人材育成 管理者のメンタルヘルス（産業カウンセラー外部講師）</p>

1.1 学術活動

「当院における高齢インスリン使用患者の実態調査」

竹本真由美

八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会

H21.10.15 八幡浜市 リジェール八幡浜

「当院のフットケアの取り組みについて」

川野理都子

八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会

H21.6.11. 八幡浜市 リジェール八幡浜

「医療連携における看護師の役割 院外糖尿病教室の実施について」

駿河陽子

地域医療連携フォーラム

H22.3.13. 松山市 看護研修センター

「クリニカルパスを用いたインスリン導入」

此上保美

愛媛県糖尿病チーム医療研修会 15周年記念オープンセミナー

H22.3.27 松山市 看護研修センター

「糖尿病療養指導により血糖コントロールが安定した1例」

此上保美

愛媛県糖尿病カンファレンス

H21.7.6 大洲市 たる井

「当院における下部消化管内視鏡検査の前処置 ニフレック2法

林久子

愛媛県消化器内視鏡技師会

H22.3.13 西条市 総合文化会館

「バスキュラーアクセス情報カルテ作成による一貫した看護を目指して」

宮本恵子

四国透析研究会

H21.10.11 松山市 ひめぎんホール

「看護師のワークライフバランスを考えた卒後研修～衛星 Live・オンデマンド研修システムを導入して」

清家太郎

第48回全国自治体病院学会

H21.11. 13

地域医療連携室

1 組織の位置づけ

組織 診療支援部

地域医療連携室

2 地域医療連携室の目的

八西地域の中核病院として地域医療に貢献・病診連携を強化・医療の機能分担の推進を目的として平成 14 年 10 月開設。

3 スタッフ紹介

田中早苗 看護師 介護支援専門員 福祉住環境コーディネーター 2 級

松本清美 看護師 (H22.2~12)

菊池幸恵 看護師 介護支援専門員 (H22.11~)

橋本裕子 日本医療事務センター 職員

4 業務内容

(1) 前方連携業務

地域診療所・病院からの診療の予約、検査の予約の受付業務

紹介医療機関への報告書および返書チェック

他医療機関受診・検査予約 転院連絡

診療情報提供依頼

受診相談

統計資料作成

(2) 後方連携業務

退院支援

地域保健・福祉・医療機関との連携

地域連携パス

後期高齢者退院支援計画作成

亜急性期入院診療計画

介護保険関連機関との連絡調整窓口 連絡調整業務

患者療養相談、医療福祉相談

5 紹介状況

	平成 21 年度
紹介	3,292
逆紹介	3,725

6 診療科別 紹介状況

内科	小児	外科	整形	脳外	婦人	眼科	耳鼻	泌尿	皮膚	放射	歯科	麻酔	救急
690	238	422	149	34	96	14	110	136	27	946	343	87	

7 地域別 紹介状況 3,292 件

	市内	伊方町	西予市	大洲市	県内	県外	不明
FAX	1,933	252	118	109	74	2	30
持参	493	96	60	94	45	8	

8 地域別逆紹介状況 3,725 件

市内	伊方町	西予市	大洲市	県内	県外	紹介先不明
2,206	306	218	138	410	18	429

9 診療予約 344 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
32	23	28	33	26	30	33	25	33	23	26	32

10 診療情報提供依頼 165 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	0	8	9	11	10	23	19	15	21	12	23

11 紹介状に対する回答状況 平均 89.9%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
96%	92%	90%	94%	88%	89%	91%	90%	84%	88%	90%	87%

12 相談内容 相談件数 267 件

職員の対応に関すること	3
治療内容に関すること	10
健康や病気に関すること	12
経済問題・医療費に関すること	13
医療機関および福祉施設等の紹介に関すること	97
介護保険に関すること	117
要望や提言	0
その他	15

1 3 退院支援計画

82 件

1 4 亜急性期入院医療管理計画

139 件

1 5 地域連携パス

21 件

1 6 学術活動

なし

医療情報管理室

1 組織の位置づけ

診療支援部

医療情報管理室

2 医療情報管理室の目的

入院診療録を、整理保管かつ統計等を行う中央機構業務を目的として 2008 年 1 月開設

3 スタッフ

診療情報管理士：1 名

日本医療事務センター事務員：2 名

診療情報管理士について

診療情報管理士（HIM）とは、診療記録および診療情報を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用することにより、医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門職で、病院機能評価では退院患者 2000 名／年につき 1 名の配置が望ましいとされている。

4 業務報告

(1) 情報管理室業務整備記録

2009/7/27 短期入院患者のカルテ合冊開始

2010/03/01 看護必要度集計業務開始

(2) 業務実績

保管入院カルテ総数 1996 年～ 59,038 冊（2010 年 3 月 31 日現在）

詳細別紙資料参照

(3) 医療情報統計処理

① 診療部

2008 年糖尿病を主病名とする入院患者数

2008 年脳血管疾患入院患者数

クルニカルパス対象患者調査

コンサルタント提出用入院患者情報

2008 年小児科入院概要調査

2008 年お産に至らなかった入院・新生児の小児科入院・子宮外妊娠の調査

時間外入院患者調査

腫瘍マーカーグラフ作成

② 院外医療機関

2009 年大腿骨頸部骨折調査（日整会骨粗鬆症委員会事務局）

循環器疾患調査（愛媛大学総合健康センター）

〃 （社団法人 日本循環器学会）

事前調査診療情報提供書に基づく紹介・逆紹介患者の分析

（総務省地方公営企業等経営アドバイザー派遣事業）

経路別入院患者数（日本病院会 医療経済 税制委員会）

時間外入院間者調査（地域医療再生基金）

みとり調査（保健所）

③ 行政

退院経路調査（詳細）

5 その他の業務

(1) 学会発表活動支援

研究用ホームページ・メーリングリスト作成支援・文献検索論文作成指導
スライド作成等

(2) 文書作成支援

スキャニング業務

(3) 看護必要度申請支援

看護必要度チェックリスト作成および集計表の作成

6 学術活動

(1) 学会・研究会発表

第48回・全国自治体病院学会

「ワークライフバランスを考えた卒後研修－衛星Live・オンデマンド研修システム
を導入して－」

(2) 認定・研修

診療情報管理士卒後教育「DPCコース」終了

7 2009年度業務実績

(1) 退院カルテ受理冊数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受理冊数	232	265	245	247	259	278	210	214	240	305	246	270	3,011

(2) 棚入れ冊数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
棚入れ冊数	198	304	241	206	250	257	197	175	232	203	199	482	2,944

(3) Dr サマリー回収率

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
Dr サマリー回収率	89.7	91.1	89.7	88.4	89.0	90.7	86.0	80.9	86.5	99.5	100.0	100.0	91.0

(4) カルテ貸出件数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カルテ貸出件数	560	600	571	627	564	650	481	514	524	792	759	808	7,450
再入院	90	93	89	99	81	80	90	82	80	103	82	80	1,049
外来診療	44	43	77	70	58	68	40	51	65	61	63	73	713
書類作成・レセプト	28	44	53	39	61	41	40	48	44	48	46	82	574
検査・書類貼付	0	0	22	6	24	37	2	0	1	42	0	20	154
調査研究	31	0	8	38	10	24	4	47	22	43	65	0	292
問い合わせ・閲覧・コピー	53	51	63	46	57	79	49	58	61	116	131	77	841
サマリー作成	302	359	247	323	261	312	226	218	242	346	345	448	3,629
その他	12	10	12	6	12	9	30	10	9	33	27	28	198

(5) カルテ配送件数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カルテ配送件数	124	117	133	162	147	139	149	143	147	173	176	153	1,763

8 2009年度看護必要度

		年間集計
全体	A項目2点以上	913
	B項目3点以上	2,489
	A・2点 B3点以上両方	653
	A項目平均点	0.7
	B項目平均点	4.3
	延べ患者数	5,399
	重症判定割合 (%)	12.1%

医事係

医事係は主に受付業務・医療費の計算業務・診療報酬請求業務を職員3人、日本医療事務センター職員32人で行っています。平成17年5月より医事会計システム、自動再来機受付システム、外来カルテ管理システム、処方オーダーダリグシステムを導入し、患者様の待ち時間短縮等サービスの向上に努めています。

1 業務実績

(1) 在院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
H21/ 4	2,053	178	1,511	1,366	0	42	108	69	195	116	36	5,674
H21/ 5	1,910	246	1,586	1,458	0	36	113	34	264	113	18	5,778
H21/ 6	1,954	138	1,509	1,622	0	41	100	56	250	57	37	5,764
H21/ 7	1,831	117	1,507	1,592	0	24	117	47	258	48	119	5,660
H21/ 8	1,853	176	1,522	1,806	0	54	94	101	249	30	105	5,990
H21/ 9	1,460	129	1,641	1,548	0	39	56	75	232	40	57	5,277
H21/10	1,645	161	1,521	1,551	10	15	23	48	221	23	66	5,284
H21/11	1,585	148	1,606	1,475	0	65	47	44	129	36	117	5,252
H21/12	1,600	195	1,581	1,703	23	62	51	20	140	15	184	5,574
H22/ 1	1,701	113	1,732	1,636	56	147	58	52	219	32	171	5,917
H22/ 2	1,641	147	1,336	1,635	30	105	42	52	216	47	200	5,451
H22/ 3	2,062	176	1,514	1,581	125	60	30	80	276	7	191	6,102
計	21,295	1,924	18,566	18,973	244	690	839	678	2,649	564	1,301	67,723

(2) 入院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
H21/ 4	76	37	49	35	0	7	11	6	26	3	6	256
H21/ 5	60	45	55	44	0	8	11	3	20	1	3	250
H21/ 6	69	27	62	37	0	6	10	6	27	2	5	251
H21/ 7	78	27	59	41	0	6	11	4	24	2	13	265
H21/ 8	67	32	62	27	0	10	10	10	28	3	7	256

H21/ 9	59	27	60	50	0	4	8	8	19	4	3	242
H21/10	65	33	60	29	2	3	5	4	21	4	11	237
H21/11	65	32	55	29	0	3	6	3	22	4	10	229
H21/12	64	33	67	35	4	5	3	4	14	2	9	240
H22/ 1	73	29	71	36	2	11	11	8	21	6	13	281
H22/ 2	94	31	46	36	3	4	9	7	23	4	12	269
H22/ 3	69	34	59	28	4	2	2	7	20	1	14	240
計	839	387	705	427	15	69	97	70	265	36	106	3,016

(3) 退院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
H21/ 4	79	35	55	40	0	7	9	8	28	3	7	271
H21/ 5	65	48	52	32	0	7	13	3	22	2	2	246
H21/ 6	62	29	64	39	0	6	9	6	21	3	4	243
H21/ 7	80	23	57	33	0	6	10	3	26	3	9	250
H21/ 8	73	34	52	45	0	8	14	10	24	3	10	273
H21/ 9	71	29	68	46	0	7	9	9	20	4	6	269
H21/10	63	31	57	36	1	2	3	3	24	3	6	229
H21/11	63	29	56	27	0	4	4	6	18	2	6	215
H21/12	72	39	73	43	1	3	7	4	16	4	10	272
H22/ 1	71	27	54	26	5	9	10	7	15	4	14	242
H22/ 2	72	30	62	35	0	7	5	7	26	4	7	255
H22/ 3	87	36	53	45	5	4	7	6	14	3	12	272
計	858	390	703	447	12	70	100	72	254	38	93	3,037

(4) 外来患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	産婦	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	歯科	麻酔科	放射線科	ドック等	合計
H21/ 4	1,939	475	632	2,258	105	319	523	555	1,192	698	155	6	100	158	9,115
H21/ 5	1,667	405	571	1,910	126	301	470	476	1,179	638	129	6	74	293	8,245
H21/ 6	1,870	463	716	2,186	96	302	389	565	1,172	771	159	3	95	251	9,038

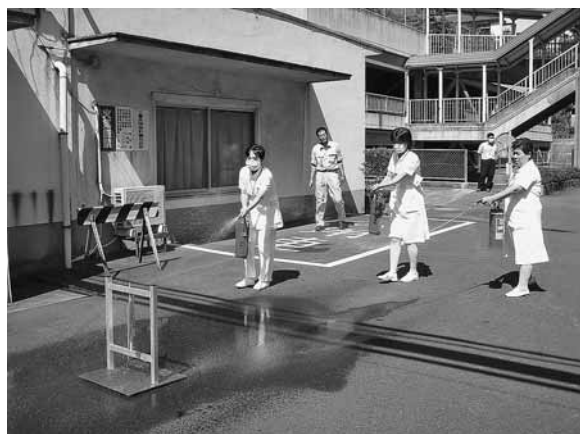
H21/ 7	1,494	390	709	2,158	126	340	395	472	1,181	815	186	11	118	224	8,619
H21/ 8	1,169	493	643	1,968	91	289	368	473	1,080	819	127	12	99	247	7,878
H21/ 9	1,343	339	690	1,946	81	324	372	425	1,064	681	116	17	99	157	7,654
H21/10	1,315	454	710	1,957	119	343	337	445	1,077	651	146	10	106	362	8,032
H21/11	1,457	492	630	1,678	109	266	341	427	1,068	633	146	9	71	362	7,689
H21/12	1,603	512	613	1,724	89	270	328	467	1,115	604	136	16	67	152	7,696
H22/ 1	1,586	482	647	1,670	108	268	244	431	1,032	596	131	16	81	140	7,432
H22/ 2	1,280	472	640	1,749	99	255	279	450	979	579	125	8	91	112	7,118
H22/ 3	1,505	520	725	2,048	71	279	345	501	1,223	699	138	9	98	103	8,264
計	18,228	5,497	7,926	23,252	1,220	3,556	4,391	5,687	13,362	8,184	1,694	123	1,099	2,561	96,780

2 学術活動
なし

市立八幡浜総合病院の行事等

1 訓練等

開催日	内容
平成 21 年 8 月 26 日	消防訓練
平成 21 年 10 月 22 日	愛媛県原子力防災訓練
平成 22 年 3 月 7 日	災害医療訓練



消防訓練の様子



愛媛県原子力防災訓練の様子



災害医療訓練の様子①



災害医療訓練の様子②